



こうほう

— 各本部電気使用月間キャンペーン特集 —



DENNET

デンネット“DENNET”は電気(Denki)工
事業で固く結ばれた協同集団(Network)
を意味して造られた組合の略称です。

第 159 号

令和5年(2023年)10月20日

石川県電気工事工業組合

ござれ祭り

空いっぱい夢いっぱい 音楽花火とドローンショー

能登町 柳田植物公園内の2万2千平方メートルもある芝生広場に能登町各地区のキリコが並びます。

野外ステージでイベントが開催されるほか、能登町の特産品の屋台が勢ぞろいします。

夜にはキリコの真上に花火が打ち上がり、夏の夜空を彩ります。

(写真提供) 辻野 実 氏

目 次

令和5年度 電気使用安全月間活動報告……………	1
令和5年度 電気保安功労者表彰……………	5
第16回 安全衛生大会……………	8
第35回 電気工事業全国大会(東北・福島大会) 開催概要……………	9
北陸電力(株)女性従業員との交流事業……………	10
各本部だより……………	11
青年部だより……………	17
女性部だより……………	18
組合事務局日誌	

令和5年度 電気使用安全月間活動報告

金 沢 本 部

青年部と女性部は協力して、8月5日(土)にエレキスクールを近隣の小学生4～6年生19人が参加して、組合会館で開催した。今年は例年と趣を変え、電気の大切さをより実感してもらうために工夫を凝らした。最初に星や昆虫、海の生物などのイラストを描いたLEDランタンを作成した。その後にランタンを手に数人で暗室の中に入り、クイズに答えるゲームを行った。最後にクイズに正解した子供たちには『未来電気工事士認定証』をプレゼントしました。



白山支部では、8月25日に田村白山市長にも参加して戴き、白山市松任総合運動公園と鶴来総合文化会館クレーン(白山市鶴来町)の電気設備清掃及び点検、周辺の清掃作業を実施致しました。



河北支部では、7月7日に内灘町総合運動公園の電気設備清掃及び点検、周辺の清掃作業を実施致しました。



能登本部



能登本部 青年部長

本山大輔

今年度は宝達志水町教育委員会の協力のもと、宝達志水町民センターアステラスにて昨年度に続き、エレキスクールを開催することができました。

新型コロナウイルスが2類から5類に移行し、行動制限が緩和されていく中で、今年度は23名の子供たちと父兄の方に参加いただき、にぎやかに開催できたことを本当に嬉しく思います。

今回はLEDランプを作成したのですが、子供たちが細かい作業等を真剣なまなざしで頑張り、完成した時の嬉しそうな笑顔を見てみると、今後の青年会活動のモチベーションになっていくと実感しております。

当日は稲垣能登本部長をはじめ、親会の方々に多数出席、お力添えを頂き電気の無料相談や電気使用安全月間のPRにキャラバン隊として施設を訪問頂きました。ありがとうございました。

エレキスクールは能登本部の一週前に金沢本部、加南本部も開催しており、様々なアイデアや事例を共有できました。部員数が減少していく中、3本部が協力、連携して活動をしていく事も必要になってくると考えています。

こうした活動を通じて電気工事業界がさらに認知され、盛り上がっていく事を願っています。



加 南 本 部

大型看板の設置

電気使用安全月間PR大型看板設置（加南本部会館壁面）



広報活動

8月1日～31日 社有車ステッカー貼付広報活動

8月1日～31日 電気使用安全月間PRポスター
コンクール 応募作品9点
最優秀賞 中田蒼唯さん
(小松市立第一小学校6年)



8月5日 電気教室「エレキスクール in 小松2023」
開催

場所：小松市民センター 小学生児童
36名参加 青年部員14名参加

第一部 電気の安全な使い方や電気の
仕組み、節電について

第二部 工作教室 ソーラーカー製作



講習会・安全指導の実施

自主安全パトロール

(電気使用安全月間中の) 実施回数6回

延べ参加者18名 13現場

8月2日 加賀支部夏季研修会 8名参加
テーマ

「地球温暖化防止対策について」

講師：石川県 カーボンニュートラル
推進課 担当課長 岡 秀雄氏

文化財等の電気設備点検

8月2日 重要文化財の電気設備点検
「小松天満宮」



月間出発式

8月1日 石川電気安全サービスの月間PR活動
出発式



令和5年度
電気保安功労者表彰

■中部近畿産業保安監督部長表彰

○営業所の部



大竹電機株

代表取締役

大竹 和彦氏

電気保安功労者表彰式が8月25日、富山市で行われ大竹電機株式会社 代表取締役 大竹和彦氏（当組合理事・金沢副本部長）が永年にわたり電気保安確保と電気工事業界の発展に尽くされた功績が認められ受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

同社は、昭和42年 大竹成和（現会長）が、大竹電機商会として電気設備工事を開業し、昭和57年4月、法人組織に変更し現在に至っている。北陸電力送配電(株)外線・引込線・内線施工者、北陸電力(株)のeドクター認定店として一般用・自家用電気工作物の設計施工を現在まで56年間の永きにわたり官公庁及び一般需要家等で多くの工事实績がある。

また、電気保安確保と安全作業、施工品質向上を経営の最重点に掲げ、従業員の教育、免許資格取得、安全教育に積極的に取組み人材育成を経営

理念に、関係団体主催の研修会や講習会に積極的に参加するとともに、新技術を先取りし新分野にも意を注ぎ事業拡大を図る等健全な発展を続けている。職場の自主安全管理活動を社内一丸となって確実に遂行し、創業以来、無災害を継続し堅実な事業運営を行っている。

さらに、200V機器の普及促進及び200V配線の推奨など優良安全配線の推進等に力を注ぎ、地球温暖化防止策としてのCO₂削減へ向けての省エネ対応機器のエコキュートをはじめエコ関連200V機器の普及拡販に意を注ぎ、オール電化・省エネフェア、キャンペーン等で多くの実績をあげている。また、お客様設備の電気保安確保に大きく貢献しており、この事に対し、北陸電力株式会社はじめ北陸電気工事組合連合会等から表彰されている。

ISOでは、「ISO9001:2015」「ISO14001:2015」を取得し、品質管理と品質保証に努めており、お客様からの信頼も高く評価されている。

地域においては、防災井戸ポンプ設備点検、防災無線点検等ボランティア活動や毎年実施している電気使用安全月間行事での街路灯点検清掃、地下道の蛍光灯清掃活動に積極的に参加している。

今後のご活躍が更に期待されるものであります。



■中部近畿産業保安監督部長表彰

○電気工事士の部



北陸電気設備㈱

菊田 三雄 氏

永年にわたり電気保安に特に顕著な功績があったことが認められ、北陸電気設備㈱ 代表取締役菊田三雄氏が受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

同氏は、昭和62年3月より北陸電気設備㈱を創業し同時に石川県電気工事工業組合に加入した。現在までの35年間に亘り北陸電力送配電㈱の内線工事施工者として、そして施工品質の高い工事を手掛け得意先は勿論、一般需要家からも高い信頼を得ている。

人格円満にして常に組合員とも融和を心掛け、関係法令を順守し当組合能登本部の講習会及び関連団体の七尾内線工事研究会研修会にも積極的に参加し、技術研鑽向上等に努めている事からも手直し等の不良工事は皆無である。作業安全面でも自主安全管理活動等に積極的に取り組み、当組合安全衛生大会は勿論の事他の関連行事にも毎年参加し安全意識高揚に努めている。

平成8年4月から石川県電気工事工業組合の総代として能登本部の保守管理部長を務め、平成25年4月から当組合理事能登本部羽咋支部長、能登本部総務厚生担当理事として旺盛な熱意と卓越した指導力で日々尽力されている。自社はもとより組合員の技術安全関係に取り組み、健康で優秀な施高品質を重視し作業員に積極的に声掛け指導されている。

地元住民との融和連携にも積極的に努め、親睦等に寄与し感謝されている。地元においても、羽咋市町会長連合会理事、町会長連合会会長等を歴任し羽咋市町会長のトップに立ち長年にわたり町づくりの推進と市政の進展に寄与し、その功績に

より羽咋市制記念日に羽咋市長より表彰されるなどの功績は顕著である。

■電気安全北陸委員長表彰

○営業所の部



藤本電機㈱

林 悟 志 氏

永年にわたり電気保安に特に顕著な功績があったことが認められ、藤本電機㈱林 悟志氏が受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

同営業所は、昭和45年8月より藤本電機商會を創業し翌昭和46年3月に石川県電気工事工業組合に加入した。現在までの52年間に亘り一般電気工作物並びに自家用電気工作物設計施工、施工品質の高い工事を手掛け得意先は勿論、一般需要家からも高い信頼を得ている。

人格円満にして常に組合員とも融和を心掛け、関係法令を順守し当組合能登本部の講習会及び関連団体の七尾内線工事研究会研修会にも積極的に参加し、技術研鑽向上等に努めている事からも手直し等の不良工事は皆無である。作業安全面でも自主安全管理活動等に積極的に取り組み、当組合安全衛生大会は勿論の事他の関連行事にも毎年参加し安全意識高揚に努めている。

代表取締役 林 悟志氏は、令和3年4月から現在に於いて石川県電気工事工業組合県監事として、旺盛な熱意で日々尽力され組合員相互の融和と協調性を果敢に重視し活動されている。

地域においても毎年恒例の七尾市祭等の提灯配線工事や関連行事に積極的に参加協力され、優秀な施工品質で安全作業に努め地域住民との融和連携、活性化に大いに尽力されたことから、石川県建築士会七尾鹿島支部より表彰状、七尾市長より感謝状を受賞されている。

■電気安全北陸委員長表彰

○電気工事士の部



(株)e-TEC

代表取締役

高田 浩氏

電気保安功労者表彰式
が8月25日、富山市で行

われ株式会社 e-TEC 代表取締役 高田浩氏が永年にわたり電気保安確保と電気工事業界の発展に尽くされた功績が認められ受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

高田 浩氏は、現在、株式会社 e-TEC にて電気工事に従事され今日まで通算25年間にわたり電気工事を施工している。この間、関係法規を守り電気工事士として技能の錬磨に努め、電気保安の確保と工事品質の向上を図り、一般用電気工作物及び自家用電気工作物の設計施工及び北陸電力送配電(株)の内線工事施工者として、一般需要家及び北陸電力(株)等で多くの実績がある。

経営にあたっては、電気保安確保と安全作業を最重点に掲げ、内線工事研究会等関係団体の技術研修会や安全講習会に積極的に参加するとともに、自社内においても自主教育を実施する等不良工事及び災害防止に努めている。この事に対し、北陸電気工事組合連合会等からも表彰されている。

また、永年の経験と円満な人格により、令和3年5月から2年間は、石川県電気工事工業組合理事（金沢本部西部支部長）、内線工事研究会委員として旺盛な熱意と卓越した指導力で尽力され、自社はもとより組合員の技術、安全関係の指導・教育に努められた功績は大なるものがあり組合の発展と組合員の指導育成に活躍され、業界発展に貢献された。また、令和元年5月より2年間にわたり石川県電気工事工業組合金沢本部電設部長を務めた。

一方、地域においては、能美市に於いて町会長として地域社会に貢献している。また、電気使用

安全月間行事では、地域の防災井戸調査等ボランティア活動に積極的に参加している。

今後のご活躍が更に期待されるものであります。



第16回 安全衛生大会

テーマ：『基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅』

スローガン：『人任せからの脱却と
積極的なリスク予知で災害防止に努めよう』

7月26日(水)にホテル日航金沢において第16回安全衛生大会を開催した。大会長である米沢理事長の開会挨拶の後、ご来賓の北陸電力株式会社執行役員石川支店長の木村博喜様から祝辞、北陸電力送配電株式会社石川支社技術担当部長の浅野淳一様から挨拶を頂戴した。その後、一般社団法人 日本自動車連盟石川支部推進課事業係係長の辻浦 千久様を講師に迎え、「交通災害から学ぶ労働災害の防止」と題し、記念講演が行われた。

また、安全指導員の委嘱状交付も行われ、これから2年間、安全指導員としてパトロールなどの活動を行うこととなる。最後に中村県青年部長による安全大会宣言とゼロ災の掛け合いコールを実施、稲垣委員長による閉会挨拶があり、「ゼロ災」の達成に向けて決意を新たにした。



第35回電気工事業全国大会（東北・福島大会）開催概要

1. 大会基本理念

- 1) 業界に内在する諸課題について討議、もって組合員の固い絆のうえに、業界のあるべき姿を模索する。
- 2) 業界の存在価値の高揚を図る観点から、業界の実情を地域社会に対し発信する。
- 3) 全国団体であるネットワークを更に活用し、横に拡げ頑張る組合員支援に資する事例の紹介、需要創造の方策を討議し、「組合員の道を拓く機会、気づき」に資する場とする。
- 4) 次代を担う青年部/女性部の資質向上ならびに時代のトレンドを見据えた大会を目指すことを目的に、青年部/女性部の斬新な発想・企画による大会企画も視野に入れる。

2. 開催年月日 2023年（令和5年）10月25日（水）～26日（木）

3. 主な行事および開催場所

○10月25日（水）[意見交換会]	※JRA 福島競馬場
○10月26日（木）[組合活性化研修会]	※JRA 福島競馬場
[大会式典]	※福島市音楽堂
[交流会]	※JRA 福島競馬場
[企業展示・物産展・パドックイベント]	※JRA 福島競馬場

※ JRA 福島競馬場

〒960-8114 福島県福島市松浪町 9-23

※ 福島市音楽堂

〒960-8117 福島県福島市入江町 1-1

4. 主催 全日本電気工事業工業組合連合会

5. 主管 東北七県電気工事組合連合会

6. 企画・運営 福島県電気工事工業組合

7. 大会テーマ

【メインテーマ】
**「持続可能な社会」をつくる
 強く頼もしい電気工事業への挑戦！**

【サブテーマ】
**業界の未来は「ひとつ、ひとつ、実現する」ここ、ふくしまから
 #発信・発進、いざ、はっしん！**

**第35回 電気工事業全国大会（東北・福島）
 オンライン配信（WEB視聴）について**

1. 配信日時

2023（R5）年10月26日（木）以下の時間に配信

①組合活性化研修会（JRA福島競馬場）

9時30分～11時30分

②大会式典（福島市音楽堂）

13時15分～15時45分



2. オンライン配信（WEB視聴）について

★視聴用URL（YouTubeLIVEの全国大会専用URL）

→<https://youtube.com/live/KkLTIEopL1w?feature=share>

北陸電力(株)女性従業員との交流事業

女性部は6月12日(月)、北陸電力株式会社との交流事業を組合会館で開催した。当日は女性部からオンライン参加を含め12名が参加、北陸電力株式会社石川支店からはサービス課と工事課から4名の女性従業員が参加した。

北陸電力から最初に電力事業の概要を行った後、女性部からの要望が多かった申し込みなどに対して意見交換を行った。意見交換では活発な意見が交わされ、女性部同士の意見交換の場にも繋がった。

女性部では今後とも外部との交流を継続し、新たな知見を広め、女性部・事業所での活動に生かしていく所存だ。



●●●●各本部だより●●●●

金沢本部

- 7月4日 外引新任班長教育
- 7月9日 第一種電気工事士定期講習会
(県地場産業振興センター)
- 7月12日 内工研幹事会 (電力)
- 7月13日 県立工業高校意見交換会
青年部定例会
- 7月15日 第二種電気工事士 (技能) 受験準備講習会 9:00
- 7月16日 第二種電気工事士 (技能) 受験準備講習会
- 7月19日 金沢本部役員会
引込線事業所訪問
- 7月20日 引込線事業所訪問
- 7月21日 第一種電気工事士定期講習会
(県地場産業振興センター)
- 7月26日 組合安全衛生大会 (ホテル日航)



- 7月27日 内工研委員会 (電力)
- 7月28日 安全部臨時施設パトロール
安全部部会

- 8月5日 エレキスクール



- 8月21日 県電設委員会
文化財等の電気設備点検
- 8月22日 外線事業所訪問
- 8月23日 外線事業所訪問
- 8月24日 外線事業所訪問
河北支部計測器照合試験
- 8月25日 外線班長研修
- 8月26日 第一種電気工事士 (筆記) 講習会
- 8月27日 第一種電気工事士 (筆記) 講習会
- 8月28日 フルハーネス特別教育



8月30日 青年部 経営講習会



9月2日 第一種電気工事士（筆記）講習会③
9:00～16:00

9月3日 第一種電気工事士（筆記）講習会④
9:00～16:00

9月5日 県広報委員会

9月9日 第一種電気工事士（筆記）講習会⑤

9月10日 第一種電気工事士（筆記）講習会⑥

9月12日 金沢本部役員会
外線・引込線特別安全パトロール

9月14日 女性部執行部会議
金沢本部青年部定例会

9月16日 青年部部員交流会

9月20日 活線認定教育（新規）

9月21日 活線認定教育（新規）

9月26日 安全衛生特別教育（金沢市異業種会館）①
（対象支部 兼六・犀川東・犀川西・河北）



白山支部計器照合試験

9月27日 白山支部計器照合試験

9月28日 通知業者特別教育研修会（異業種会館）



安全衛生特別教育（金沢市異業種会館）②
（対象支部 みなと・西部・白山）



9月30日 県青年部女性部意見交換会
15:00（東急ホテル）

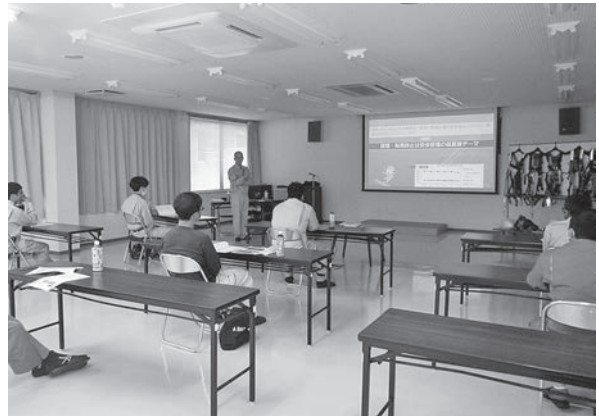


能登本部

- 7月4日 安全協会安全祈願祭（珠洲地区）
〃 新任班長教育（於：県本部）
7月5日 安全協会安全祈願祭
（能登、輪島地区）
7月10日 安全協会安全祈願祭（七尾地区）
7月11日 安全協会安全祈願祭（羽咋地区）
7月13日 安全協会安全祈願祭（志賀地区）
7月19日～21日 配電専門能力育成（中堅社員）
教育
7月26日 安全衛生大会（於：ホテル日航金沢）
8月2日～24日 絶縁防保護具耐電圧試験
8月4日 配電委員会（於：県本部）
8月7日 安全協会夏期役員パトロール
8月11日 青年部エレキスクール、キャラバン隊
広報活動、無料相談所開設
（於：宝達志水町アステラス 他）



- 8月21日 電設委員会（於：県本部）
〃 計測器等校正試験～9月15日
8月23日 内工研合同パトロール
（於：羽咋市 永光寺）
8月24日 フルハーネス特別教育



- 8月25日 保安功労者表彰式
・中部近畿産業保安監督部長表彰
（電気工事士の部）
北陸電気設備㈱ 菊田三雄氏 受賞



・保安功労北陸委員長表彰

(営業所の部)

藤本電機(株) 林 悟志氏 受賞



8月26日～9月30日

第1種電気工事士学科講習会

受講者3名



9月5日 広報委員会 (於：県本部)

9月7日 第1種電気工事士定期講習会
(於：七尾サンライフプラザ)

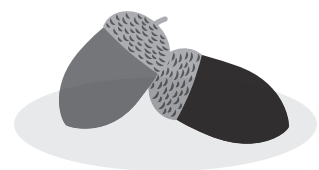
9月12日 配電工事特別安全パトロール
(於：金沢市)

9月20日～21日 新規活線近接作業員認定教育
(於：県本部)

9月22日 役員会及び計器出庫窓口説明会

9月27日 災害疑似体験会 (於：北陸電力)

9月30日 県青年部意見交換会
(於：金沢東急ホテル)



加南本部

- 7月4日 第1回広報厚生委員会 6名
令和5年度事業計画について
- 7月5日 第1回技術委員会 9名
令和5年度事業計画について
- 7月11日～8月8日 内線工事現場自主安全パト
ロール 小松支部：16回
- 7月12日 安全祈願祭【小松支部】本折日吉神社
【加賀支部】加賀江沼神社
- 7月12日 電気使用安全月間PR大型看板設置



- 7月13日 技術委員会・青年部「高校生ものづく
りコンテスト」打合せ 3名
- 7月14日 加賀労働基準協会
通常総会・第2回理事会
- 7月24日～25日 計測器・トルクドライバー校正
試験 加賀支部
- 7月25日 小松労働基準協会
定時社員総会・理事会
- 7月28日 第2回企画経営委員会 5名
組合員アンケート調査について
- 7月28日 技術委員会・青年部「高校生ものづく
りコンテスト」審査員 3名



- 8月1日 電気使用安全月間PR活動出発式
石川電気安全サービス
- 8月2日 重要文化財電気設備点検 小松天満宮
- 8月2日 加賀支部「道路クリーン作戦」熱中症
アラート発令により中止
- 8月2日 加賀支部夏季研修会 8名参加
テーマ「地球温暖化防止対策について」
講師：石川県 カーボンニュートラル
推進課 担当課長 岡 秀雄氏



- 8月5日 電気教室「エレキスクール in 小松2023」
開催 小松市民センター
小学生児童 36名参加
青年部員 14名参加
第一部 電気の安全な使い方や電気の
仕組み、節電について
第二部 工作教室 ソーラーカー製作
- 8月21日～25日 圧縮工具圧力試験
- 8月22日～8月31日 内線工事現場自主安全パト
ロール 加賀支部：7回
- 8月22日 安協交差パトロール 能美市福島町地
内（北電工現場） 6名
- 8月25日 フルハーネス特別教育 3名



8月26日～10月1日 第一種電気工事士筆記試験
講習 全6回 受講者2名

8月29日 安全委員会「安全行動宣言（感電死亡
災害の防止）」の各職場掲示

9月1日 外壁看板取替 安全月間→エコキュート

9月5日 機材倉庫完成 機材搬入



9月8日 第2回広報厚生員会 6名

電気使用安全月間ポスターコンクール
審査



9月11日 小松商工会議所

小規模企業振興委員連絡会

9月11日～16日 6日間 活線防保護具耐圧試験

9月12日 第3回企画経営委員会 6名

9月12日 県配電工事特別安全パトロール 5名

9月15日 電気使用安全月間ポスターコンクール
表彰

最優秀賞 中田蒼唯さん

(小松市立第一小学校6年)



9月15日 小松労働基準協会 安全衛生委員会

9月20日～21日 新規活線認定教育 1名

9月26日～28日 3日間

間接活線工具耐圧試験

●●●●● 青年部だより ●●●●●



県青年部長

中 村 栄太郎

日頃より青年部活動にご理解、ご支援、ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

県青年部の活動を報告致します。小学生を対象としたエレキスクールを8月5日(土)に加南、金沢で、8月11日(金)に能登で開催しました。加南本部では電気に関するクイズを今年から一新し、正しい電気の使い方は勿論、停電が発生したときや災害時に役立つ知識をクイズに取り込み、親子に楽しんでいただきながら電気の大切さを実感していただきました。加南本部で作っていただいたクイズは各本部で共有させて頂きました。

金沢では女性部と合同で「絆」をテーマに子供にLEDランタンを工作してもらい、当会館5階が停電したと想定し、暗闇の中LEDの灯りを頼りに互いが協力しあって宝探しゲームを行いました。ゲームの中で電気の大切さと協力する大切さを実感してもらいました。能登本部では今年から加南本部で作っていただいたクイズを実施。子供達からはとてもわかりやすかったと大好評でし

た。クイズのおかげでLEDランプ工作も盛況だったとの事でした。

子供の参加人数は加南50人、金沢19人、能登23人の合計92名、協力していただいた青年部員は30名、女性部は3名、本会様は9名でした。エレキスクールを企画実行していただいた各本部青年部長はじめ、青年部員、女性部、本会様に改めて感謝申し上げます。

9月30日(土)に青年部・女性部合同の意見交換会を実施しました。テーマは「組合のメリットをブラッシュアップしよう」です。ブレインストーミング形式で行いました。様々なアイデアが出てきましたし、交流も深まりました。本会様に共感していただけるアイデアもあると思います。アイデアにつきましては改めてまとめたものをご報告させていただきます。

引き続き本会様のご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

女性部だより



女性部長

中村志保

2023(令和5)年3月3日、石川県電気工事工業組合女性部が設立されました。皆様の多大なるご尽力により、女性部20名で晴れてスタートすることができました。

女性部設立の話が出た時は、まだコロナも収まらない時期でしたが、何度も会議を重ねながら、先ずは女性部設立という一つの目標を達成することができました。本会、青年部の皆様をはじめ、組合に関わる全ての皆様の大きなお力を頂きました事を女性部一同改めまして心より感謝申し上げます。

電気工事業界で、女性という個性を認知していただくには、女性従事者がまだまだ少ないというのが現状の中、女性部の立ち上げはとても貴重であり、これからの業界の未来へつなげていく大きな武器になると、とても期待しております。

その為に私たちができる事が何なのか？それを一つ一つ考え、そして実行して結果に残していく。それが私たちの役割ではないかと考えております。

石川県電気工事工業組合女性部は全国で11番目の設立となりました。全国47都道府県に女性部を設立することを目標に全日電工連を中心に全国か

ら女性部の代表が集まり活動しております。今現在13の女性部が設立しております。

男性社会の業界の中で、いかに女性が輝き、女性という武器を生かしていけるか？私が女性としてこの業界に携わりながら思うことの一つに、男性の力はやはり偉大であり、頭を並べて女性が活躍するという考え方ではなく、女性にしかできない事を確立していく。女性ならではの細やかな考え方や、しなやかな作業力などの充実化を実現していく。お互いの特徴そして長所を生かしながら短所を補っていく事を行動力に生かしていけば本物の強力化に繋がり結果的に素晴らしい事業工程が作り上げられるのではないかと考えております。

石川県電気工事工業組合女性部はまだ走り始めたばかりです。私は部長という大きな役目を頂きました。たくさんのご尽力を頂いている皆様に「女性部」という組織に対して期待を持って頂けるよう女性部執行部を中心とする21名（現在）力を合わせ、全身全霊でがんばって参ります。

これからも大きなご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

第一種電気工事士の皆さんへ

第一種電気工事士免状をお持ちの方で、

- ・ 定期講習をお忘れではありませんか？
- ・ 前回の受講日から5年を超過していませんか？
- ・ 5年前に新規取得者された方で未受講の方はいませんか？

お手元の免状をご確認ください。

また、お手元に「定期講習申込書」をお持ちの方は、
下記日程よりお選びください。

第一種電気工事士定期講習会開催予定表

開催予定日	曜日	予定会場	申込先
令和5年12月6日	水	石川県地場産業振興センター（本館）	石川県電気工事工業組合
令和5年12月7日	木	石川県地場産業振興センター（本館）	
令和6年1月18日	木	石川県地場産業振興センター（本館）	
令和6年3月27日	水	石川県地場産業振興センター（本館）	

石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2023年7月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入でご好評をいただいております～

任意労災制度(業務中のケガと病気補償)
【業務災害総合保険】の特長

1. 団体契約なので個別にご加入いただくよりも割安です。
※50事業者以上の場合、事業者数割引が15%適用されます。
2. 従業員の方々からの個別健康告知は不要です。
3. 貴社の事業内容および売上高から保険料を算出します。
4. 保険料は全額損金処理が可能です。
※法人が契約者として、従業員全員(役員を含みます。)のために負担する保険料は全額が損金扱いとなります。
(法人税基本通達9-3-5.9-3-6の2を準用 2023年7月現在)
5. 業務中の地震によるケガも補償します。
(地震・噴火・津波危険補償特約セットの場合)
6. 高額化する労災訴訟への備えとして、
最高5億円(注)までの損害賠償責任に対応!
※損害賠償保険金の支払いにあたっては、労災保険の請求結果が必要です。
(注)事業内容によっては引受限度額が1災害最高3億円になります。
※弁護士費用等の争訟費用も補償します。

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。
詳細につきましては、パンフレットをご覧くださいか、
取扱代理店または引受保険会社にお問い合わせください。

◎このような場合に保険金をお支払いいたします。



お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIG損害保険株式会社 金沢支店
金沢市南町4-60 金沢大同生命ビル

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

TEL 076-222-0005 FAX 076-222-1287

(受付時間)午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く
(営業種目)自動車保険・火災保険
賠償責任保険・その他各種損害保険

引受保険会社



AIG 損保

AIG損害保険株式会社

募集文書承認番号：D-006666(202406)

全日電工連認定損害保険制度の概要

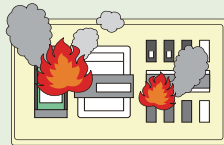
全日電工連組合員の皆さまに、3つの損害保険制度をご用意しております。全日電工連ならではのスケールメリットを生かした割安な加入費(保険料)で皆さまの経営を支えます。

物への補償

人への補償

組立保険制度

組合員の皆さまの資材、工事物件を守ります。



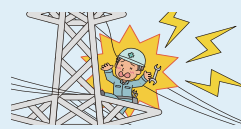
夜間火災が発生し、現場事務所および収容の什器・備品を焼損した。



工事現場で電線が盗難にあった。

業務災害補償制度

従業員や役員、個人事業主などの労災リスクを補償します。



作業中に感電して亡くなられた。



従業員が作業中にケガをし、後遺障害第1級が生じた。

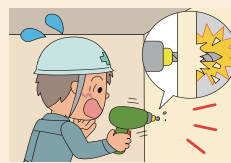
ご自身の損害

第三者損害賠償制度

第三者(他人)の身体に障害を、または財物に損壊を与えてしまったことにより、法律上の賠償責任を負った場合に補償します。



5年前の太陽光発電システム設置工事の際、ボルトの締めが緩かったためすき間ができ、雨漏りが発生した。



空調設備工事中、誤って壁をキズつけた。



工事中、誤って工具を落とし、通行人にケガをさせた。

第三者の損害

全日電工連の生命保険

グループ共済制度

病気 災害 24時間保障!
業務外 業務上

加入年齢範囲の拡大!

経営者おすすめコースの新設!

**制度の推進を
 承っております**
**幹事会社住友生命
 より、訪問の上、
 詳しい説明をさせ
 てもらっております。**

2023年度版(概算掛金) 全日電工連の生命保険 (災害保障特約付 団体定期保険 [契約概要・注意喚起情報])

本パンフレットをご一読いただき、この機会にぜひ加入・保障の見直しをご検討ください

全日電工連 グループ共済制度のご案内

「組合員の皆様が安心して働ける環境づくり、大切な事業の継続に役立つ保険です。」



「従業員の皆さま」

手頃な掛金で充実保障!
安心・安全な職場環境づくりに役立ちます。

「経営者の皆さま」

大切な事業の継続に備える
「経営者おすすめコース」が役立ちます。
(最高3000万まで加入・増口可能)



掛金の年齢区分を見直しました。

2023年
リニューアル

若年層・ミドル層の皆様にもさらに加入しやすい掛金になりました!
幅広い世代の皆様を手厚くお守りします!

	15歳	50歳	60歳	70歳	80歳
2022年度 月額掛金 (確定)	360円	560円	1,310円	1,310円	
2023年度 月額掛金 (概算)*	320円	500円	1,380円	1,380円	

主契約保険金額 100万円(1口) あたりの掛金 (掛金イメージ)
*2023年度月額掛金は概算掛金です。実際の掛金は申込書切後に確定するため記載の掛金とは異なることがあります。掛金は毎年更新日に見直しされます。

新規加入年齢75歳まで

全日本電気工業労働組合連合会

〒105-0014 東京都港区芝2-9-11 全日電工連会館1F TEL 03-5232-5861 FAX 03-5232-6855 E-MAIL: zennichi@znd.or.jp

本パンフレットは次回更新日まで大切に保管してください。

品名コード 102-251 CG2022-0330

**※ご加入にあたっては
 こちらのパンフレットを必ずご覧ください。**



全日電工連グループ共済制度幹事会社 住友生命保険相互会社 金沢支社

〒920-8632

石川県金沢市上堤町1-18

住友生命金沢上堤町ビル7F

TEL 076-231-1283

あなたの未来を強くする



秋の休暇を楽しんで
心に残る思い出を。

Refresh!

もっと自分らしい

働き方

休み方

10月は「年次有給休暇
取得促進期間」です。

年次有給休暇 を上手に活用し働き方・休み方を見直しましょう

- 「年次有給休暇の計画的付与制度」を導入しましょう。
- 年次有給休暇付与計画表による個人別付与方式を活用すれば休暇の分散化にもつながります。

 厚生労働省 | 都道府県労働局 | 労働基準監督署

●働き方・休み方改善ポータルサイト <https://work-holiday.mhlw.go.jp/>

年次有給休暇取得促進特設サイト 

年休取得促進
特設サイト▶



Refresh!

もっと自分らしい 働き方 休み方


年次有給休暇 を上手に活用し 働き方・休み方を見直しましょう

年次有給休暇の計画的付与制度を導入しましょう。

「年次有給休暇の計画的付与制度」とは、年次有給休暇の付与日数のうち5日を除いた残りの日数について、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度の導入によって、休暇の取得の確実性が高まり、労働者にとっては予定していた活動が行いやすく、事業主にとっては計画的な業務運営に役立ちます。

1) 年次有給休暇付与計画表による 個人別付与方式の導入例

例えば、毎週金曜日に
年次有給休暇の計画的付与を活用すると？

年次有給休暇を土日と組み合わせると、連続休暇になります。また、点囲みのような日に年次有給休暇をさらに組み合わせること(プラスワン休暇)も考えられます。



2) 日数 付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。

例1 年次有給休暇の付与日数が10日の労働者

5日	5日
事業主が計画的に付与できる	労働者が自由に取得できる

例2 年次有給休暇の付与日数が20日の労働者

15日	5日
事業主が計画的に付与できる	労働者が自由に取得できる

◎前年度取得されずに次年度に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含めた付与日数から5日を引いた日数を計画的付与の対象とすることができます。

3) 活用方法 企業、事業場の実態に合わせたさまざまな付与の方法があります。

方式	年次有給休暇の付与の方法	適した事業場、活用事例
一斉付与方式	全従業員に対して同一の日に付与	製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用
交替制付与方式	班・グループ別に交替で付与	流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場などで活用
個人別付与方式	個人別に付与	年次有給休暇付与計画表により各人の年次有給休暇を指定

それぞれの方式に関する労使協定や就業規則などの例は『年次有給休暇取得促進特設サイト』をご確認ください ▶



年休取得促進
特設サイト

年5日の年次有給休暇を確実に取得しましょう。

全ての企業において、年10日以上年次有給休暇が付与される労働者に対して、年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させることが必要です。

労使協定によって時間単位の年次有給休暇の活用もできます。

年次有給休暇の付与は原則1日単位ですが、労使協定を結べば、年5日の範囲内で、時間単位の取得が可能となります。労働者の様々な事情に応じた柔軟な働き方・休み方に役立ちます。

※分単位など時間未満の単位での取得は認められません。また、時間単位の年次有給休暇の取得分については、確実な取得が必要な5日間から差し引くことはできません。

解体・改修・各種設備工事を行う施工業者の皆さまへ



令和5年 **10月1日**
着工の工事から!!

事前調査は、 「建築物石綿含有建材調査者」^{※1} が行う必要があります！

※1・特定建築物石綿含有建材調査者

- ・一般建築物石綿含有建材調査者
- ・一戸建て等石綿含有建材調査者
(一戸建て住宅・共同住宅は住戸の内部に限定)

・令和5年9月までに日本アスベスト調査診断協会に登録された者



事前調査は、 工事の規模にかかわらず すべての工事が対象です

工事対象となるすべての範囲について
石綿が含まれているか事前に調査を
行う必要があります(※2、3)

※2 事前調査は、建築物石綿含有建材調査者等が行う必要があります

※3 事前調査については、「文書」と「目視」による方法が原則です
ただし、事前調査の方法については、例えば、解体等対象建築物等の着工日等が平成18年(2006年)9月1日以降であることを、設計図書等の文書で確認する方法などが認められており、この場合は事前調査者の資格まで必要ありません

事前調査結果の 報告は義務です

石綿事前調査結果報告システムを使用すれば、
パソコン・スマホから24時間報告できます(※4)

一定規模以上の工事は、
施工業者(元請事業者)が労働基準監督署と
都道府県等に対して、事前調査結果の報告を
あらかじめ行う必要があります(※5)

※4 システムの使用が困難な場合は紙による報告もできます

※5 裏面「報告の対象となる工事・規模基準」を参照



詳細は、石綿総合情報ポータルサイトを
ご確認ください

<https://www.ishiwata.mhlw.go.jp>



事前調査結果報告システムによる報告の対象となる工事・規模基準

以下に該当する工事は報告が必要です（石綿が無い場合も報告が必要です）

工事の対象	工事の種類	報告対象となる範囲
すべての建築物 (建築物に設ける建築設備を含む)	解体	解体部分の床面積の合計 80 m ² 以上
	改修 ※1)	請負金額が税込 100 万円以上
特定の工作物 ※3)	解体・改修 ※2)	請負金額が税込 100 万円以上

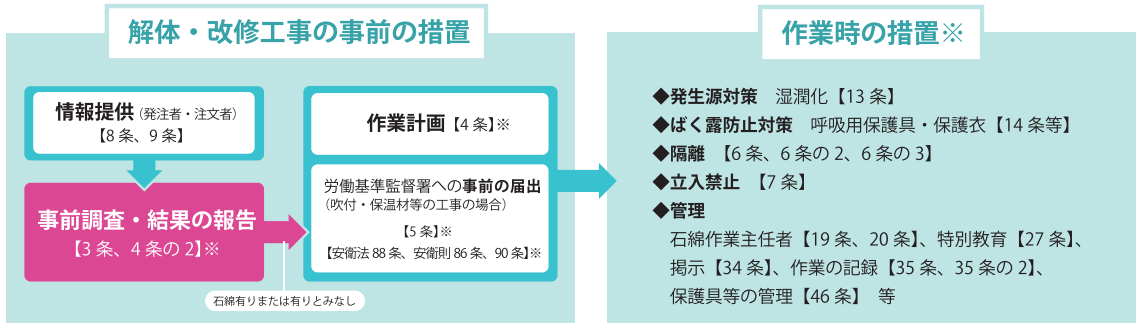
材料費も含めた
工事全体の請負代金

- ※1 建築物の改修工事とは、建築物に現存する建材に何らかの変更を加える工事であって、建築物の解体工事以外のものをいい、リフォーム、修繕、各種設備工事、足場の設置、塗装や外壁補修等であって既存の躯体の一部の除去・切断・破碎・研磨・穿孔（穴開け）等を伴うものを含みます
- ※2 定期改修や、法令等に基づく開放検査等を行う際に補修や部品交換等を行う場合を含みます
- ※3 報告対象となる工作物は以下のものです（なお、事前調査自体は以下に限らず全て必要です）
 - ▶ 反応槽、加熱炉、ボイラー、圧力容器、煙突（建築物に設ける排煙設備等の建築設備を除く）
 - ▶ 配管設備（建築物に設ける給水・排水・換気・暖房・冷房・排煙設備等の建築設備を除く）
 - ▶ 焼却設備、貯蔵設備（穀物を貯蔵するための設備を除く）
 - ▶ 発電設備（太陽光発電設備・風力発電設備を除く）、変電設備、配電設備、送電設備（ケーブルを含む）
 - ▶ トンネルの天井板、遮音壁、軽量盛土保護パネル
 - ▶ プラットホームの上家、鉄道の駅の地下式構造部分の壁・天井板
 - ▶ 観光用エレベーターの昇降路の囲い（建築物であるものを除く）※令和 5 年 10 月 1 日から追加



事前調査結果を踏まえた工事の実施

事前調査の結果、石綿有りの場合（または有りとみなす場合）は、法令に基づく措置が必要となります
適正な石綿飛散防止・ばく露防止措置を行う上で、石綿の有無を判断する事前調査は大変重要です



特に記載のあるものを除き、条文は石綿障害予防規則を表します ※は罰則規定のあるもの
建築物の解体等に係る石綿ばく露防止対策等に関連する法律としては、労働安全衛生法以外にも、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法などがありますので、解体等を行う事業者はこれらの関係法令に基づき適正に作業を行う必要があります

詳細は、石綿総合情報ポータル サイトをご確認ください！

石綿障害予防規則の概要、法令改正の内容、建築物等の解体・改修工事を行う際に必要な措置等の改正ポイントや、石綿の分析に関するマニュアルなど、事業者・作業員・発注者のそれぞれに向けた情報を掲載しています

各種手続きについて

事前調査結果報告システム の操作方法について

石綿事前調査結果報告システムをご利用頂く前に「利用者マニュアル・基本操作編、詳細機能編」を参照ください

G ビズ ID について

G ビズ ID トップ画面「gBizID で行政サービスへのログインをかんたん」にご確認ください（他ご不明点はお問合せまで）

(R5.9)

その工事、 「石綿」が含まれて いませんか？



石綿（アスベスト）の有無の「事前調査結果の報告」が義務化
 全ての建築物、特定の工作物の一定規模以上の解体・改修工事は、2022年4月1日着工の工事から原則全数が報告対象となります。

報告用Webシステムをご活用ください （石綿事前調査結果報告システム：2022年3月公開予定）

事前調査結果は、施工業者（元請事業者）から労働基準監督署と自治体の両方に報告が必要です。報告用Webシステムを使用すると、パソコン、スマホから24時間いつでも報告ができます。
 ※2022年3月（予定）のシステム公開までは、案内ページにリンクします（報告対象工事も確認できます）。



石綿事前調査結果報告システム

検索

工事発注者・個人の皆さまへ

建物や家などの解体、リフォーム、各種設備工事、修繕時には、法令に基づく石綿の事前調査が施工業者に課せられています。これらの工事を発注する際は、石綿の事前調査や施工費用が適切に計上されていることを確認ください。厚生労働省では、発注者の皆さま向けの情報も発信しています。



石綿総合情報ポータルサイト

検索



● 組合事務局日誌 ●

- | | | | |
|------|---|------|---|
| 7月4日 | 新任班長教育 | 23日 | 第50回三県知事との懇談会
(北陸経済連合会) |
| 9日 | 第一種電気工事士定期講習会 | 24日 | 創立40周年記念講演会
(石川県中小企業団体事務局協議会) |
| 10日 | 企画委員会
(石川県中小企業団体中央会) | | フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 |
| 11日 | 自由民主党女性局
「ウーマノミクス会議」
(全国女性部連絡協議会) | 25日 | 全国女性部連絡協議会(全日電工連)
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育
電気保安功労者表彰式
(日本電気協会北陸支部) |
| 12日 | 通常総会
(いしかわ21世紀住まいづくり協議会) | 26日 | ニューレジリエンスフォーラム北陸ブ
ロック大会 in 金沢 |
| 13日 | 高校生との意見交換会
(石川県立工業高校) | 28日 | フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 |
| 19日 | 総会(石川県農業電化協会) | 9月5日 | 広報委員会 |
| 21日 | 第一種電気工事士定期講習会 | 7日 | 三役会議・全日電材連幹部懇談会
(全日電工連)
第一種電気工事士定期講習会 |
| 24日 | 理事会・代議員会
(ほくりく地域産業企業年金基金) | 8日 | 合同会議(三役会議・総合政策会議)
理事会(全日電工連) |
| 26日 | 第16回安全衛生大会 | 12日 | 配電工事特別安全パトロール
事務担当者研修会
(全国労働保険事務組合連合会石川支部) |
| 28日 | 配電委員会・配電工事作業会
(北陸電気工事組合連合会) | 21日 | 事務局責任者会議(全日電工連) |
| 8月4日 | 配電委員会 | | |
| 7日 | 石川県産業振興指針検討委員会
(石川県中小企業団体中央会) | | |
| 21日 | 電設委員会 | | |

こうほう 第159号

発行 2023年10月20日

発行所 石川県電気工事工業組合
金沢市新保本4-65-22
TEL (076) 269-7880(代)
FAX (076) 269-7881



届けるのは、 北陸を愛するエネルギー。

暮らしによりそい、電気をお届けしつづける使命とともに
未知の領域に、勇気を持って挑んでいく。

一人ひとりの熱い想いが、電気の流れる「道」をつくる。

未来へ、めぐらせる。

 北陸電力送配電